

カタル楽しさカタルシス

浪曲と活弁



浪曲は三味線を伴奏に浪曲師が物語る語り芸。説経節、でろれん祭文、阿呆陀羅經などをもとにする。明治初期より「浪花節」と呼ばれ、戦前まで庶民の娯楽として全盛を迎えた。一方、映画は明治29年に日本に上陸し、無声映画の上映に、映像の説明やせりふを語る**活動写真弁士**が登場。弁士は映画とともに大人気を博した。浪曲で大衆の心をつかんだ語りは弁士にも引き継がれている。一時は衰退したかとおもわれた伝統芸能に新風を巻き起こしているお二人の清新な浪曲、カツベンを**三味線**の音にのせてお届けする**語りのライブ!**

- 浪曲師: 玉川奈々福
- 活動写真弁士: 坂本頼光
- 曲師: 沢村美舟

2021年
2月23日(火・祝)
14:00開演
(13:30開場)

<上演作品>

活弁:『血煙高田の馬場』、
『旗本退屈男』、『逆流』、『小雀峠』
浪曲:『仙台の鬼夫婦』

【料金】2,700円(全席指定・税込)

小・中学生1,500円/25歳以下2,000円(要証明・窓口販売のみ)
アルテリオ・シネマ会員2,500円(要会員証・ポイントなし・窓口販売のみ)

【会場】川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

【発売日】2021年1月25日(月)

【取扱い】川崎市アートセンター

web <https://kawasaki-ac.jp/th> (24時間対応、セブンイレブンでもお買い求めいただけます)

tel 044-959-2255(9:00-19:30、土日祝・原則第二月曜除く)

窓口 9:00~19:30(原則毎月第二月曜日を除く)

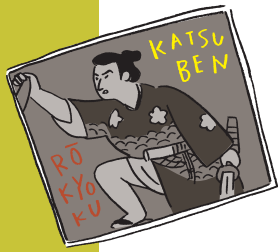
※ご来場の際、マスクの着用をお願いします。※発熱や咳など、体調に不安のある方は入場をお断りする場合があります。
※川崎市アートセンターでは新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、適切な感染予防対策を行います。詳細はHPをご覧ください。

主催・お問合せ:川崎市アートセンター 044-955-0107

後援:NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり 協力:一般社団法人コミュニティシネマセンター

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会





カタル楽しさカタルシス

浪曲と活弁

2021年
2月23日(火・祝)
14:00開演
(13:30開場)

活動写真弁士 坂本頼光

1979年東京生まれ。中学2年頃より映画熱にとりつかれ、活動写真弁士を志す。2000年『鞍馬天狗』前篇の説明でデビュー。以来、時代劇作品を中心に全国各地で活弁ライブを行い、現在まで説明作品は約120本。2010年にエール大他米国立5大学の公演、2012年には仏シネマテーク・フランスーズに招へいされた。アニメの声優やCMナレーション等活動の幅を広げている。平成30年度国立演芸場花形演芸大賞の金賞受賞。2019年公開の映画「カツベン!」では主演の成田凌、共演の永瀬正敏に活弁指導。



浪曲師 玉川奈々福

神奈川県横浜市出身。1995年7月、二代目玉川福太郎に師匠(浪曲三味線)として入門。師の勧めにより2001年より浪曲師としても活動。2006年12月、芸名を美穂子から奈々福に改め名披露。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲や、長編浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。平成30年度文化庁文化交流使として、イタリア、スロベニア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、キルギス、ウズベキスタンの七か国で公演を行った。第11回伊丹十三賞受賞。



曲師 沢村美舟

千葉県佐倉市出身。2015年6月、沢村豊子に入門。当初は稽古台だった玉川奈々福を主に弾いていたが、現在は関東節関西節さまざまな演者を弾き、浪曲を支えている。



カツベン4作品 弁士:坂本頼光 曲師:沢村美舟

『血煙高田の馬場』

1928年(昭和3年) / 10分 / 無声 / 白黒 / DVD / 日本
原作・脚本・監督:伊藤大輔 出演:大河内伝次郎、奥川延一郎、市川春衛、東木寛(伴淳三郎)

浪人の中山安兵衛は喧嘩の仲裁をし、双方から金をせびって酒を飲むという暮らしをしている。ある日、家に帰ると伯父の置手紙に「高田の馬場に決闘に行く」とあり、酔いからさめて駆け出していく。伊藤×大河内のコンビ作。



『旗本退屈男』

1930年(昭和5年) / 15分 / 無声 / 白黒 / 16mm / 日本
監督・脚本:古海卓二 出演:市川右太衛門、武井竜三、大江美智子、小夜文子

旗本早乙女主水之介の屋敷に捕房に追われた男が逃げ込む。主水之助は退屈のぎに男を助けるが、数日後、その男から届いた鯛が毒入りと見抜き、その裏に大事件があるのでと睨む。大スタア市川右太衛門の代表作。



『逆流』

1924年(大正13年) / 21分 / 無声 / 白黒 / 16mm / 日本
監督:三川文太郎 出演:阪東妻三郎、片岡紅三郎、マキノ輝子、清水零子、中川芳江

没落した家を再興しようと若侍、南条三樹三郎は申しめられながらも文武に励んでいる。師の倉橋十平太の娘、操へ恋慕が支えていた。操が家老の息子早水源三郎と結婚することを知り、三樹三郎は深く苦悩する。大スタア阪東妻三郎。



『小雀峠』

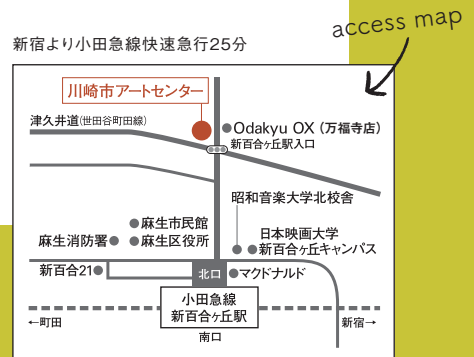
1923年(大正12年) / 27分 / 無声 / 白黒 / 16mm / 日本
監督:沼田紅緑 出演:市川幡谷、市川小蝦、高木新平、森静子、阪東妻三郎

未だ見ぬ父親を尋ねて放浪の旅を続ける飴売り少年、徳太郎。彼の純真さに感化された盗賊、平次、仙吉、三太と旅をすすめるうち、その飴売り唄を聞いた壮年の武士の心を奪う。現存する最古の阪妻出演作。

浪曲 浪曲師:玉川奈々福 曲師:沢村美舟

『仙台の鬼夫婦』

仙台藩家老で三千石の砂子三十郎の一人娘お貞は、才色兼備で長刀の名手。彼女が無役で七百石の井伊仙三郎直人に惚れ込み妻となった。仙三郎は博打で身を持ち崩すが、ある日、お貞は元手のない彼に一両を与えて博打に行かせる。ある朝、仙三郎がいつものように無心すると、お貞はある提案をする。目から鱗の夫婦愛に満ちた演目。



< 会場・お問合せ >

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場 (小田急線「新百合ヶ丘駅」北口徒歩3分)

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1 tel 044-955-0107 <https://kawasaki-ac.jp/>

< 駐車場サービスのご案内 > 本公演をご鑑賞されるお客様に、Odakyu OX万福寺店駐車場のサービス券(90分)を200円にて発行しております。